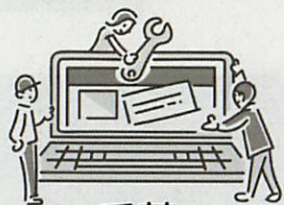


各庁に聞きました！

「Microsoft 365で業務改善やってみた」④

M365の活用で、現場の悩みがどう解消されていったのか？各庁の取組を教えてくださいました。
今回は、各庁サイトの構築・運用について、千葉地家裁、大阪家裁、広島地家裁、函館地裁のポータル担当者のみなさんと座談会を行いました！



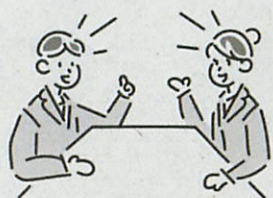
千葉

「情報探索や照会対応にかかる労力を減らすこと」を意識しました。具体的には、①本庁・支部間の情報格差を減らす②資料を整理して、情報探索労力を減らすことを目指しました！



大阪

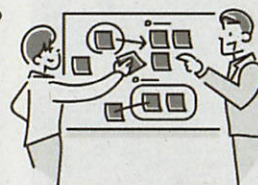
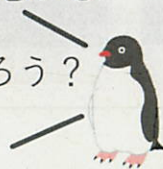
「本庁と支部の情報格差を早急になくすこと」を意識しました。最初から完成形を目指すのではなく、できるところから着手し、検証、修正…を繰り返すことで素早いサイト構築を目指しました！



広島

「情報の分散を防ぐこと」を意識しました。また、職員にもっとポータルを見てもらうために、職員自ら情報を取りに行くよう考え方を変えてもらうために、どうしたらいいかを検討。これまでのやり方を変えるのは、M365が導入された「今」だと思いました。

どんなポータルサイトなんだろう？
さっそく覗いてみよう！



函館

「本庁・支部の全職員に対し、事務処理上必要で継続的に参照する情報を、過不足なく、簡単にアクセスできる環境を整備すること」を意識しました。最新かつ同一の情報をみんなで共有、検索が簡単…などのポータルサイトの強みを生かした工夫を検討しました！

※R6.2に座談会を実施しました。所属は座談会当時のものです。

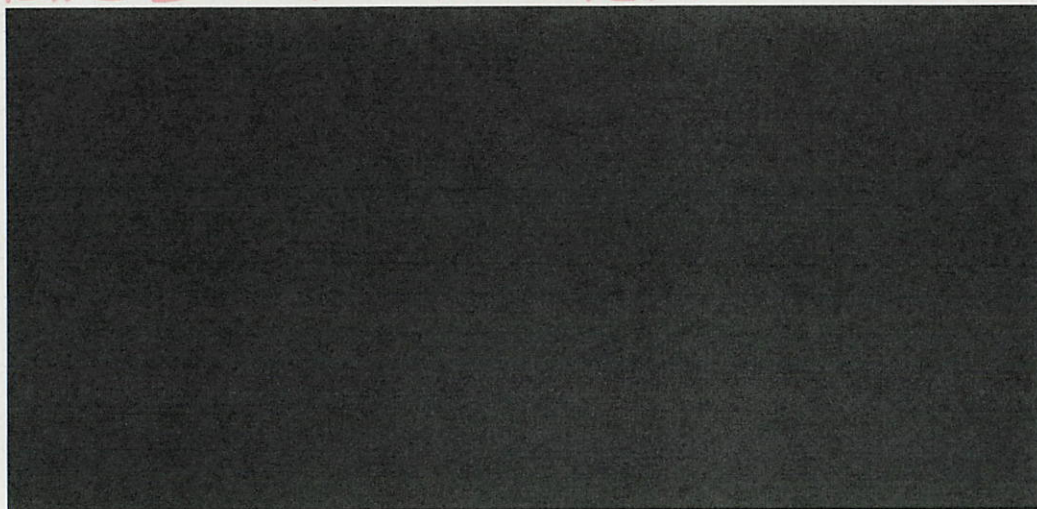
令和6年4月 最高裁デジタル総合政策室

私たちのポータル紹介！～千葉地家裁～

総務課長
土田さん

総務課課長補佐
柳井さん

民事訟廷副管理官
雨宮さん



千葉地裁総務課
課長補佐 柳井さん

利用者目線でページの構成などを工夫。
事務局のページは総務・人事・会計ごと
に地家裁関係なく統合しています。

千葉地裁民事訟廷
副管理官 雨宮さん

では、ツールに関する情報
やデジタル化後の業務改善に関する資料
を掲載。ツールの活用に関するYouTube
動画を掲載するなど、業務改善のヒント
になる情報を集めています。

千葉地裁民事訟廷
副管理官 雨宮さん

人事課ページは、ライフイベントや手
続ごとに分類し必要な情報にアクセス
できるようにしています。

千葉地裁総務課長
土田さん

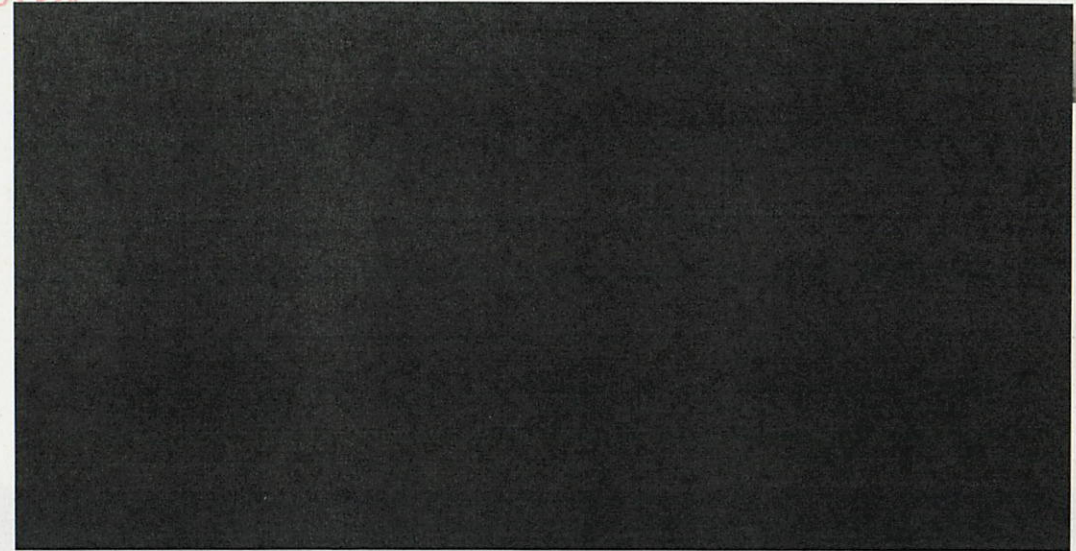
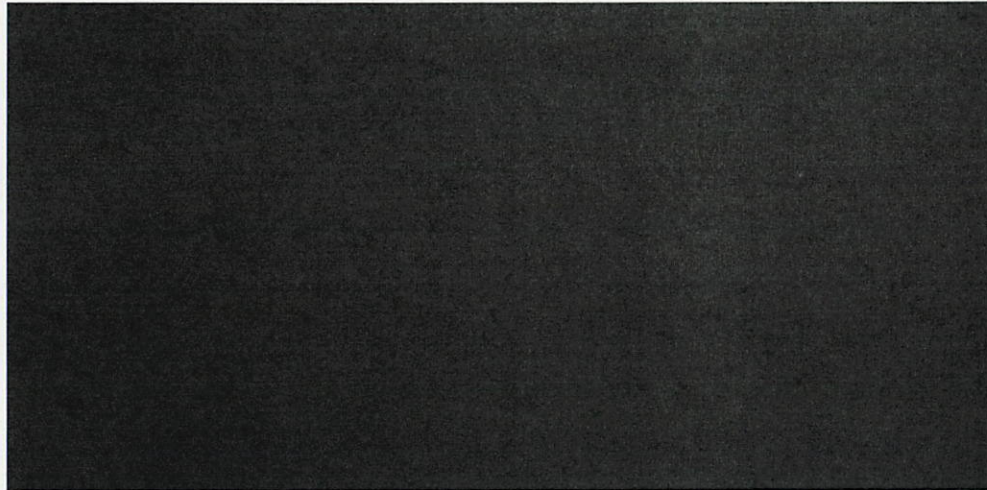
職員からは、情報にアクセスしやすい
と好評です。特に、今まで庁内ホーム
ページを見られなかった支部の職員か
ら、「便利になった！」という声が届
いています。

※各庁サイトの画像は、サイト紹介に必要な範囲に限定して掲載。それ以外の部分については、ぼかし処理をしています。（以降のページも同様）

私たちのポータル紹介！～大阪地家裁～

主任書記官
西村さん

書記官
石山さん



大阪家裁主任書記官
西村さん

事務局ページでは体裁の統一、資料が多いデジタルチームのページでは、セクションごとの折り畳みや目次の充実によって、必要な情報へのアクセスをスムーズに。また、サムネイルをページに表示し、資料の内容をわかりやすいようにしました。

大阪家裁書記官
石山さん

会議室予約の入り口をひとつに。これまで各部課室が総務課庶務係にメールし、総務課でエクセルに入力していましたが、各部課室で直接入力するように事務フローも見直しました。これにより、総務課の事務負担の削減を実現！

私たちのポータル紹介！～広島地家裁～

総務課課長補佐（地裁）
小西さん

総務課課長補佐（家裁）
大西さん

総括主任調査官
小見山さん

広島家裁総務課
課長補佐 大西さん

広島地裁総務課
課長補佐 小西さん

職員への周知を地家裁ニュースへの記事掲載に一本化。誰に対するどんな情報かすぐに分かるように、記事の属性や宛先の表示の項目を工夫。メール転送をやめ、転送処理の負担削減にも取組中！ポータルへ情報を集めるという職員の意識が高まっています。

最初の4行で内容が分かる本文、端的なタイトルなど、読み手の利便性を意識した運用ルールを作成しました。

広島家裁総括主任調査官
小見山さん

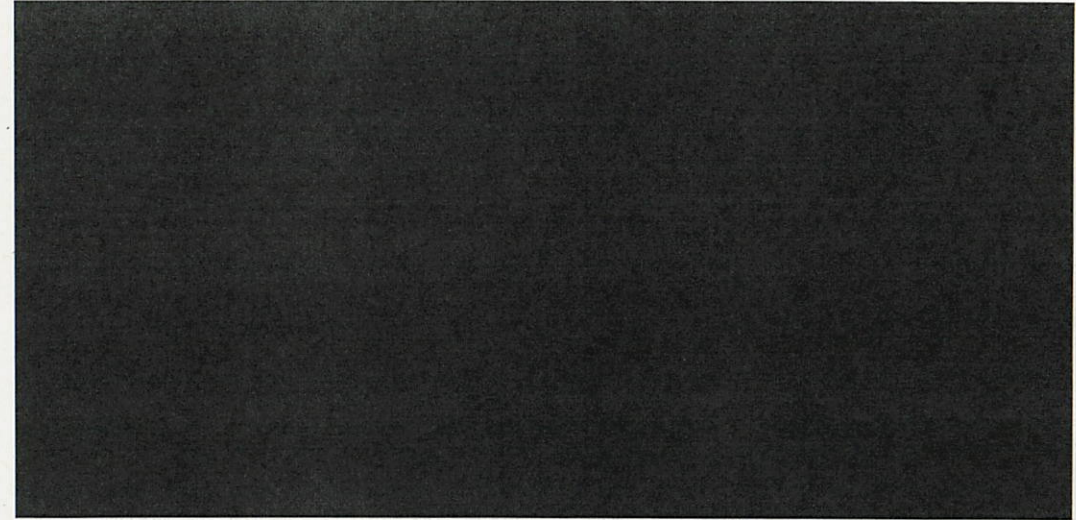
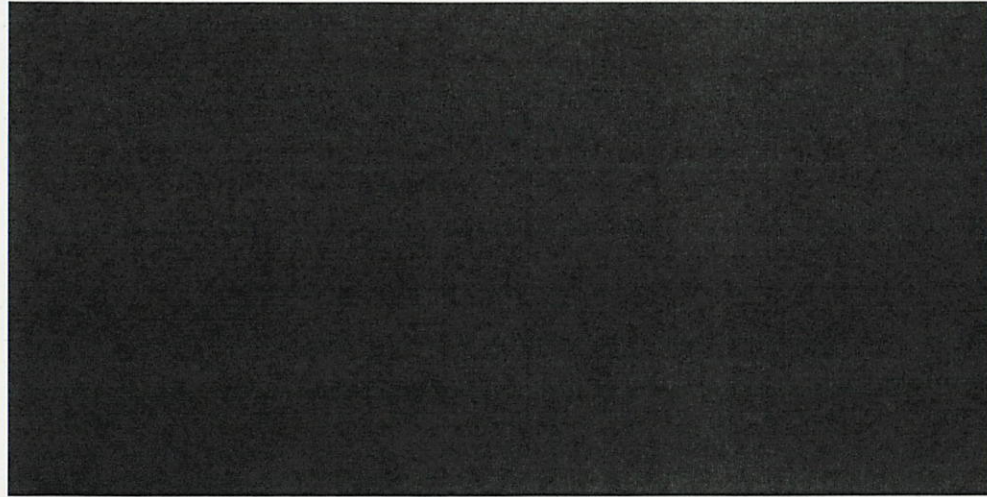
さらなる調査の質の向上や事務の効率化を目指して、
という調査官同士で調査事務や採用広報関係の情報を共有できるページを作成。高裁のトップページにリンクを貼って、高裁管内の調査官全員が簡単にアクセスできるように工夫しました！

私たちのポータル紹介！～函館地家裁～

総務課長
小林さん

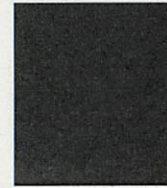
会計課長
石栗さん

総務課主任
大年さん



函館地裁会計課長
石栗さん

庁舎の改修工事に関するお知らせ用サイトを作りました。工事を円滑に行うためには職員の理解が必要不可欠。工事中の執務室の写真を充実させるなど、工事の進捗状況が視覚的にも分かるように工夫しています。



函館地裁総務課主任
大年さん

執務要領集を作成しました。発出部課室別の検索に加え、自分の所属や担当業務別など、さまざまな切り口で検索可能としたことがポイント。また、各部課室に依頼している報告案件を、報告頻度に分けてサイトへ集約。根拠通達や入力フォームへのリンクも貼り、アクセスを容易に。最終ゴールは引継書作成の省力化！

構想づくりのプロセス

ポータルコンセプトやコンテンツの構成は、どこから発想を得たのですか。



函館地裁総務課長
小林さん

コンセプトは、職員がこれまで不便に感じた体験がもとになっています。例えば、「どれが最新の文書がわからない」という経験や、函館に転入してきた職員の「多機能サーバに何のデータがあるのかわからなくて困った」という声から、「最新情報をポータルに集約し、情報の格納場所を明確にしよう！」などとみんなで議論し、少しずつコンセプトを固めていきました。



千葉地裁民事訟廷
副管理官 雨宮さん

人事課のページは、日常生活での気づきがヒントに。「市役所を利用するとき、利用者はどの課が何の仕事をしているかわからない…職員も同じでは？」という問題意識から、係横断的に利用者目線での検討を実施しました。検討過程では「人事課は採用から退職までのすべてのライフイベントに関わる」というかつて受講した研修講師の言葉をきっかけに、ライフイベントを中心としたページ構成へ。今後、他のページ構成にも、この考え方を応用したいです。

取組を進めるための、ひと工夫

取組を進める上で、工夫した点や留意した点を教えてください。



大阪家裁主任書記官
西村さん

作業をスムーズに進めるため、各部署のページ作成の担当者間で知識を共有しながら構築。例えば、大阪家裁のデジタルチームでページの作成に必要な情報をまとめた資料を作成して配布したり、詳しい人がいる部署が先導してページを作成し、他の部署はそのノウハウを生かして作成したりする工夫をしました。素早くサイトを構築することができました！



広島家裁総務課
課長補佐 大西さん

職員周知のポータルへの一本化は、広島地家裁だけでなく広島高裁と一緒に推進。高地家裁で調整の上、同じ内容の記事を各自が掲載しないようにするとともに、記事の公開場所や範囲をきめ細やかに設定可能としました。また、courtsポータルに掲載された記事は、重ねて周知不要としています。職員に対しては、Teamsを活用して要急・要作業の記事が掲載されたことを注意喚起しつつ、記事へのリンクを貼ってポータルへ誘導、掲載通知をチャット等で自動受信する方法も紹介するなど、ポータルを見てもらいやすくなるような工夫をしています。

貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました！